

## 7. 看護専門学校

### 1) 教務関係

#### (1) 看護専門学校教育課程

文部省・厚生省令によるカリキュラム改正を受けて、平成9年度入学生から適応してきたカリキュラムを見直し、平成15年度に認可申請を受け、平成16年度入学生から適応する新カリキュラム(資料1)の初年度の運用であった。従前のカリキュラムの2・3年生と新カリキュラムの1年生に支障がないよう調整し運営した。

国家試験対策については、年度初めに出題傾向、合格基準の考え方、学習の進め方等についてガイダンスを行い、国試情報の周知徹底を図った。年間を通して学内模試・業者模試合わせて7回行い、その結果を分析し学生個々の対策について面接等で確認、アドバイスした。12月の臨地実習終了後には、専門基礎分野・専門分野の科目を中心に補講を実施した。

結果は98.9%(全国平均91.4%)の合格率であった。

特別講演会：(1)5月7日(土)『看護から助けられた私』

絵門ゆうこ氏(エッセイスト・カウンセラー、元NHKアナウンサー・池田裕子)

(2)11月27日(土)『車椅子から語りかける“夢と希望と生きること”』

萩生田千津子氏(車椅子女優)

#### (2) 教員組織

教育研究上の組織の変更なし。長期にわたり、事実上不在であった副校長に専任の看護職が就任した。平成16年度の専任教員数は16名。

#### (3) その他

実習ゼミや学生の看護技術学習の教育設備として、旧寮であった第2校舎の一部を改修し、3階に沐浴演習室、5階に成人看護演習室を増設した。

少子化、高学歴志向の中、看護大学の増設が相次いでいる時代にあり、専門学校の受験生の確保は年々厳しさを増している。目的意識の明確な受験生の確保のために、学校説明会を月2回定例化し、業者および高校企画の進学相談会へは積極的に参加をし、インターンシップの受け入れも行った。

学校通信を年2回(7月・3月)発行、全学年の保護者宛に郵送し各学年の学校生活の様子を紹介した。

入学式後に1年生、戴帽式後に2年生の保護者会を開催、国家試験の動向や看護教育を取り巻く学習環境の変化等説明し、保護者の理解、協力をお願いした。

## 7. 看護専門学校

(資料1) 教育課程及び単位数・授業時数(平成15年7月14日改定, 第30回生より適用)

区分	科目	単位数	時間数	備考
基礎分野	人間発達論	1	30	3科目のうち 1科目選択  3科目のうち 1科目選択  基礎分野13単位 (360時間)を修得
	看護と倫理	1	30	
	家族と社会	1	30	
	心理学	1	30	
	人間関係論	1	30	
	生物学	1	30	
	音楽	1	30	
	茶道	1	30	
	華道	1	30	
	健康とスポーツ	1	30	
	健康とスポーツ	1	15	
	英語	1	30	
	英語	1	30	
	仏語	1	30	
	独語	1	30	
	統計学	1	15	
情報科学	1	30		
専門基礎分野	解剖学	2	60	専門基礎分野21単位 (510時間)を修得
	生理学	2	60	
	生化学	1	30	
	基礎病理学	1	30	
	臨床病理	1	30	
	臨床病理	1	30	
	臨床病理	1	30	
	臨床病理	1	30	
	臨床病理	1	15	
	微生物学	2	30	
	薬理学	1	30	
	臨床栄養	1	15	
	保健医療論	1	15	
	健康教育学	1	30	
	公衆衛生学	1	15	
	社会福祉	1	30	
関係法規	1	15		
リハビリテーション論	1	15		

区分	科 目	単位数	時間数	備 考
専	基礎看護学			
	看護学概論	1	30	
	看護実践概論	1	30	
	生理的適応の援助	1	30	
	生理的適応の援助	1	45	
	生理的適応の援助	1	30	
	生理的適応の援助	1	30	
	心理・社会的適応の援助	1	30	
	診療の援助	2	60	
	看護過程の展開	1	30	
門	在宅看護論			
	在宅看護概論	1	15	
	在宅看護の対象	1	30	
	在宅看護の方法	2	60	
分	成人看護学			
	成人看護学概論	1	15	
	成人の健康生活と看護	1	15	
	疾病経過別看護（急性期・回復期）	1	30	
	疾病経過別看護（急性期・回復期）	1	45	
	疾病経過別看護（慢性期）	1	45	
野	疾病経過別看護（終末期）	1	15	
	老年看護学			
	老年看護学概論	1	15	
	老年の健康生活と看護	1	30	
野	老年の疾病・障害	1	15	
	疾病・障害を持つ老年の看護	1	45	
	小児看護学			
	小児看護学概論	1	15	
野	小児の健康生活と看護	1	30	
	小児の疾病・障害	1	30	
	疾病・障害を持つ小児の看護	1	30	
	母性看護学			
野	母性看護学概論	1	30	
	生殖生理と疾病・障害	1	30	
	妊産褥婦の健康生活と看護	1	30	
	妊産褥婦の健康生活と看護	1	15	
野	精神看護学			
	精神看護学概論	1	15	
	こころの健康	1	30	
	精神の疾病・障害と看護	1	30	
野	精神の疾病・障害と看護	1	30	
	看護研究	1	30	
	臨地実習			
	基礎看護実習	3	135	
野	在宅看護実習	2	90	
	成人看護実習	8	360	
	老年看護実習	4	180	
	小児看護実習	2	90	
	母性看護実習	2	90	
	精神看護実習	2	90	
合 計		94	2940	総計94単位 (2940時間)を修得

専門分野37単位  
(1035時間)を修得

臨地実習23単位  
(1035時間)を修得

## 2) 学生関係

## (1) 健康診断について

	総数	実施者						備考
		内科	胸部 X-P	耳鼻科	眼科	検尿	採血	
1年生	111	111	111	111	111	111	111	
	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	
2年生	109	109	109	109	109	109	109	
	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	
3年生	95	95	95	95	95	95	95	
	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	
合計	315	315	315	315	315	315	315	
	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	100.00%	

## (2) クラブ活動

## 公認クラブ

クラブ名	人数	顧問	学生代表
バスケット部	9	小野寺 ひで子	熊谷 愛
バトミントン部	9	五味 明子	但野 真希
水泳部	7	本間 理予	菊池 一仁
茶道部	8	寺田 阿津子	相沢 舞
管弦楽部	20	石黒 千尋	三浦 理香

## 公認同好会

同好会名	人数	顧問	学生代表
ガーデニング	2	石田 ひろ子	清水 章博
軟式テニス	15	武信 真理子	佐々木 優夏

## (3) 奨学金受給者

単位：人数

	1年生	2年生	3年生	合計	
杏林大学医学部附属看護専門学校学生修学貸与金	80	84	78	242	
日本学生支援機構奨学生	第一種奨学金	3	4	1	8
	きぼう21プラン奨学金	10	10	3	23
東京都看護師等修学生	第一種貸与		1	3	4
	第二種貸与	4	4	1	9
あしなが育英会奨学生		1		1	

\* 併給は、それぞれの人数に含む。

(4) 卒業後の進路

第28回生卒業生	92名		
進学	5名		
就職	85名	内訳：杏林大学医学部付属病院	74名
		他院	11名
その他	2名		

(5) その他

学生と教職員との交流，学校生活の活性化のために開始した“ざっくばらんトーク”は，本年度も継続し3回実施した。この会で出された意見や学内に2ヶ所設置してある“ご意見箱”への投書等から，学生の要望を知り，学習環境や日ごろの教育活動の自己点検をし，必要な調整や改善を行った。

学生が心身ともに健康で充実した学生生活を送れるよう，学生の相談には教職員の他に，専門のカウンセラーによる相談を週2回行っている。本年度は，カウンセラーの交代があり，利用の手続き等多少の変更があった。学生の利用に支障がないように周知を図り活用を促した。